

次の文章を読み、下記の問に答えよ。

(25点)

日本で最初に鑄造された貨幣は、これまでは（ 1 ）であるとされてきたが、近年の考古学的発掘により、7世紀後半に富本銭が鑄造されていたことが明らかとなった。古代にはまだ、畿内を除き物々交換が主であり、(a)貨幣の流通は十分ではなかったが、（ 1 ）以降12種類の銅貨が鑄造されており、これらは皇朝十二銭と総称される。しかし、律令政府の衰えとともに、朝廷による貨幣の発行は見られなくなった。

鎌倉時代になると貨幣の使用が広まり、(b)御家人が貨幣を手に入れるために自己の所領を質入れする例も見られた。この時代の貨幣は宋銭などの輸入銭が中心であった。室町時代には商工業の発展に伴い貨幣の需要がさらに増えたため、日明貿易で明銭が大量に輸入された。この他、粗悪な私鑄銭も流通していたので、貨幣の未統一による経済の混乱を防ぐため、室町幕府や戦国大名はしばしば（ 2 ）を発して貨幣交換の比率や良銭の基準などを定めた。

江戸幕府は、金・銀・銭貨の三貨を発行して全国的な統一的貨幣制度を確立した。1600年から鑄造され始めた（ 3 ）小判は純度の高い良質な金貨であったが、財政難に対処するため(c) 1695年には品位を落とした元禄小判が発行された。その後、正徳小判や享保小判のように小判の品位が引き上げられたこともあるが、幕府の財政窮乏に伴って次第に品位は落とされていった。江戸時代の金貨は定められた価値が表示された計数貨幣であるのに対し、(d)丁銀や豆板銀などの銀貨は重さを計って価格を決める貨幣であった。しかし1772年には、金貨との交換価値を表記した計数貨幣の銀貨である（ 4 ）が発行された。また、銅銭は1636年より鑄造された寛永通宝が長く使用され、他にも諸藩では藩内だけで通用する（ 5 ）という紙幣の発行もなされた。

明治政府は発足当初に太政官札・民部省札を発行したが、(e)1871年には新貨条例を制定し、近代的貨幣制度の確立に努めた。この新貨条例では、新たな貨幣単位として、十進法の円・銭・厘を定め、これに基づき新紙幣の明治通宝札を発行した。その後、大蔵卿となった松方正義により紙幣整理が行われ、1882年には中央銀行として日本銀行が設立され、以後の紙幣の多くが日本銀行券として発行された。これら日本銀行券の中には、(f)表面だけ印刷された裏白紙幣も存在した。

日中戦争の激化は多額の戦費を必要としたため政府は紙幣を濫発し、さらに敗戦によって日本経済が壊滅的な打撃を受けて極度の物不足に陥ったため、激しいインフレーションが起こった。このインフレを抑制するため、幣原喜重郎内閣は1946年、（ 6 ）令を発した。この法令では預金封鎖を行い、流通していた旧円もすべて預金とする一方で、預金口座からは新円の引出しを一定額のみ認めることで、流通する通貨量の削減をはかった。結果的に、インフレを完全に抑えることはできなかったが、この法令により、戦後の新たな貨幣制度が始められたともいえるだろう。

**問1** 文中の1～6 ( ) に適する語句を記せ。(12点)

**問2** 下線部(a)～(e)に関する下記の問に答えよ。

- (a) 貨幣の流通を促すため、711年に朝廷が出した法令は何か。(2点)
- (b) 「山王靈驗記絵巻」にも描かれている当時の高利貸を何と呼ぶか。(2点)
- (c) この改鑄を勘定吟味役であった時に建議したのはだれか。(2点)
- (d) 計数貨幣に対し、このような貨幣を何と呼ぶか。(2点)
- (e) アメリカの貨幣制度を視察し、この新制度を建議したのはだれか。(2点)

**問3** 下線部(f)に関して、この紙幣を発行したときの首相の名前と、発行される原因となった恐慌の名称を記せ。(3点)